ディスカバリーサービスの さらなる「日本化」を目指して

佛教大学図書館 専門員 飯野勝則(iino@bukkyo-u.ac.jp) 図書館総合展日外アソシエーツ社フォーラム 2013年10月30日於横浜

二 佛教大学図書館

はじめに

佛教大学と図書館のあらまし

- 1912年開学
- ・ 浄土宗による設立
- 京都市および南丹市にキャンパス
- 仏教学部をはじめ、保健医療技術学部など7学部体制
- 通学課程学生数: 約7000人
- 通信課程学生数: 約14000人
- 図書館蔵書数: 約97万冊
- 図書館年間開館日数: 316日





二 佛教大学図書館

ディスカバリサービス

ディスカバリーサービスとは?

①次世代OPAC (NGC: Next Generation Catalog)

- Aqua Browser
- eXtensible Catalog

②ウェブスケールディスカバリ(WSD: Web Scale Discovery)

- Summon
- EBSCO Discovery Service
- WorldCat Local
- Primo Central

③ウェブ検索エンジン

- Google
- Yahoo!

さまざまな見解が存在するが、最近の図書館業界としては「②」に分類される4つのシステム(通称:BIG4)の意味で用いられることが多い

5

二 佛教大学図書館

ウェブスケールディスカバリ (WSD)

機能

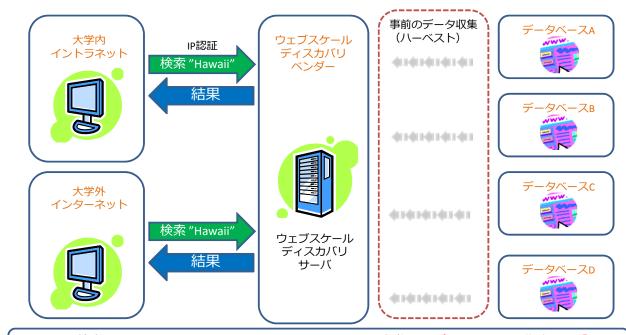
- ●図書館OPACなど自館のコンテンツから、商用のデータベースに至るまでを統合的に検索できる
- 視覚的に工夫されたユーザインターフェース上で検索結果を統合的に表示できる

特徴(四つの要件)

- ●クラウドサービスとしての提供
- ■図書館や各種の商用データベース等から収集されたメタデータを統合した、ウェブスケールな検索用の「セントラルインデックス」を所有
- ●電子リソースに対し、定期的に自動でデータ更新(ハーベスト)を行うための仕組みを持ち、利用者に最新の検索データを提供
- 単一の検索窓で検索を行えるほか、検索結果全てを「関連度」順に表示

横断検索(Federated Search)と次世代OPAC(NGC)で実現されていた「機能」を引き継ぎ、新たな特徴(四つの要件)を付与して形成されている

ウェブスケールディスカバリの仕組み

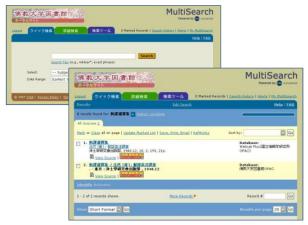


"Hawaii"を検索すると、"Hawaii"というキーワードを<mark>あらかじめ収集したデータを用いて作成した「セントラルインデックス」に対し検索</mark>を行い、その結果を表示する

二 佛教大学図書館

横断検索(Federated Search)

Multi Search / 360 Search



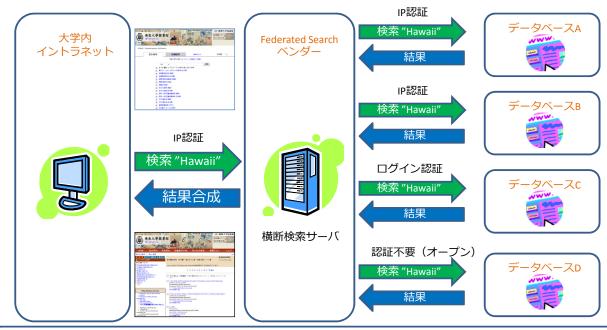
※2007年5月~2009年3月



※ 2009年4月~2011年3月

- ・キーワードを各データベースに投げて、その返答結果をひとつの画面上で統合して表示するシステム
- ・増え続けるデータベース(とくに英語)を利用者に効率的に使わせたいという必要性から生まれた

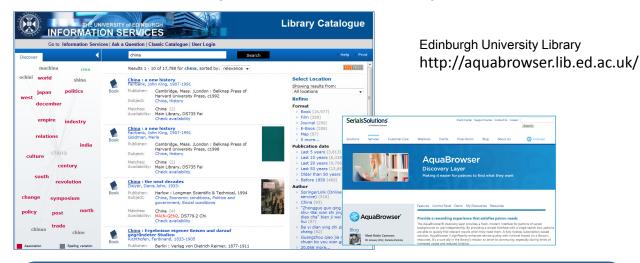
横断検索(Federated Search)の仕組み



"Hawaii"を検索すると、"Hawaii"というキーワードを複数のデータベースに投げ、検索させ、帰ってきた結果を一つの画面で表示

二 佛教大学図書館

次世代OPAC(Next Generation Catalog) Aqua Browser Library



- ・視覚的に優れたデザインを採用しているほか、ファセット分析などの技法により、利用者により多くの情報を直感的、効率的に提供するシステム
- ・図書や雑誌に限らず、図書館で提供できる幅広いコンテンツを、直感的に利用者に提供したいという必要性から生まれた

横断検索と次世代OPACの弱点

横断検索

(Federated Search)

- 検索結果が各データベースの反応順 で表示される
- ◆検索能力が各データベースの検索システムの能力に依存する
- 検索のためのデータベース接続が不安定である
- 検索に対する反応が遅い

次世代OPAC

(Next Generation Catalog)

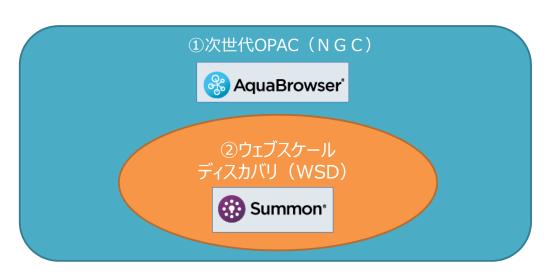
- OPAC以外の外部のデータベース を統合的に検索する場合には横 断検索を利用する必要がある
- 横断検索の弱点は次世代OPACの 弱点でもある

これらの弱点を克服する「特徴(四つの要件)」をもったシステムとして、ウェブスケールディスカバリは開発された

11

二 佛教大学図書館

次世代OPAC(NGC)と ウェブスケールディスカバリ(WSD)の関係性



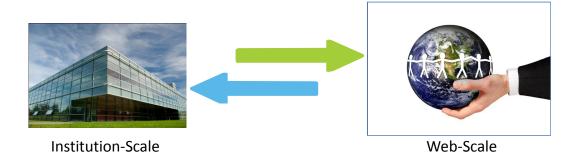
- ・実際には、ウェブスケールディスカバリ(WSD)も次世代OPACの一形態
- ・ウェブスケールディスカバリは、「次世代」の中の「次世代」であり「ウェブスケールな次世代OPAC(NGC)」

ウェブスケール (Web-Scale) と スケーラビリティ (Scalability)

二 佛教大学図書館

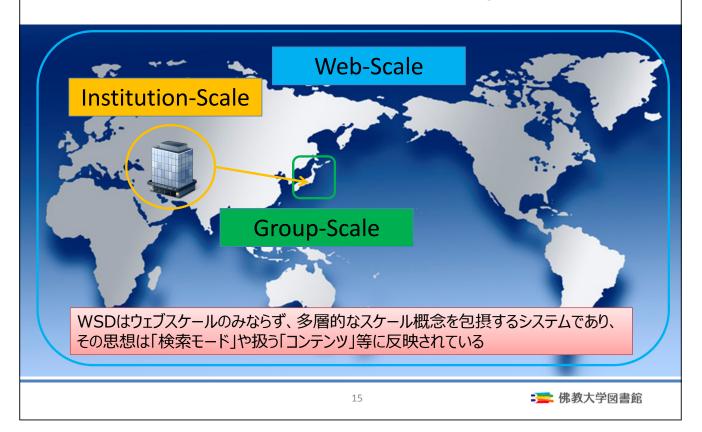
ウェブスケールとは?

図書館本来の「スケール」である、インスティチューションスケール(Institution -Scale)の対義語

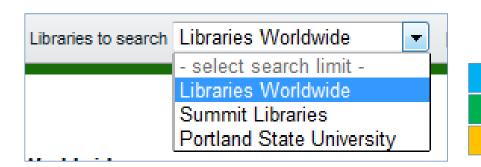


"Libraries at Webscale". OCLC. http://www.oclc.org/reports/webscale/default.htm

WSDのスケーラビリティ



スケーラビリティと検索モード



Web-Scale

Group-Scale

Institution-Scale

From WorldCat Local

検索対象となるデータの範囲を「スケーラビリティ」に応じて設定できる

スケーラビリティとコンテンツ

Global Web-Scale

- 商用データベースなど
- 契約があれば世界中で利用可

Regional / Consortial

Group-Scale

- 地域コンソーシアムが作成したデータベースなど
- グループとしての利用が中心
- グループ内だけの限定コンテンツも

Local
Institution-Scale

• 図書館や大学が作成したデータベースなど

17

- その図書館や大学での利用が中心
- 学内限定というのも

高

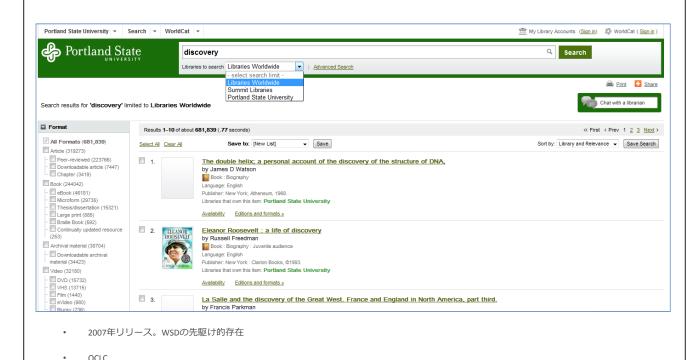
ディスカバリ対応の難見度

低

二 佛教大学図書館

BIG4

WorldCat Local (WCL)



Portland State Library. http://library.pdx.edu/

二 佛教大学図書館

Summon お気軽検索 紫式部 検索 詳細検索 ◎ 絞り込みを保持 ◎ 新規検索 検索結果: 紫式部 に一致 5,280 件 数り込み 本文あり 学许文献(密括論文など) 新師配と事を除外 回書第0PACにある文献 学内提供サービス以外を追加 - - -紫式部 0, 81 : 福田 男代 062012、ユンション日本歌人著 / 和歌文学会監修, ISBN 9784305706447, jc, 127 ト あらずい 日よ 末式部(平安中期), 先式部 回路。31108(2048)44, 3階 (CPAC) | すべて | 図書 /電子書籍 (2,760) | 雑誌論文 (1,178) | 電子リソース (608) | 参照 (431) 紫式部 :後種、幸良(1958-) 08/2003, 日本の作家100人, ISBN 9784585051688, p. 237 ▶ あらすじ・日次 紫武部 绿音資料(非音楽) (222) ▼ 主題 紫式部 |すべて |源氏物語 (927) |紫式部 (835) |紫式部 - 深矢中期 (328) |紫式部 - 源氏軌語 (98) |紫大部 - 源氏軌語 (86) : 沢田, 正子(1944-) 08/2002, Century books, ISBN 4389411748, 224p, 図版 [1] 枚 トあらすじ-目次 柴式部, 平安中期, 紫式部 ボータルサイト | ヘルブ | 概要 | フィードバック | 日本語 ▼ 紫式部 ▼ 発行年月日 すべて 日本大百科企業、012013 生分本年料、平安平期の対流作客、F選先/随記/第式第日記/F蒸式等集/を指し、F接 和数率払りで向待(大くせん) 無しる協立化・取がたられている。国際30時(ためたき) と ラケキシャン、とうさせ、きた、森に超 新参拝、Avalato Coltine お気軽検索 学術検索をシンプルに 紫式部日記 : 紫式部(987-1015) および 山本, 淳子(1960-) 04/2009, 角川文庫, ISBN 9784044072049, p. 261 トあらすひ・目次 紫式部日記, 紫式部 Personalized Search (4) 保存したアイテム (0) 2009年リリース Serials Solutions社 **二** 佛教大学図書館 佛教大学図書館「お気軽検索」. http://bukkyo.summon.serialssolutions.com

EBSCO Discovery Service (EDS)



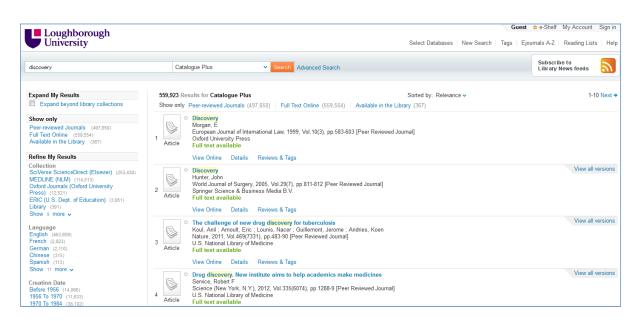
- 2010年リリース
- EBSCO社

立命館大学図書館. http://www.ritsumei.ac.jp/library/

21

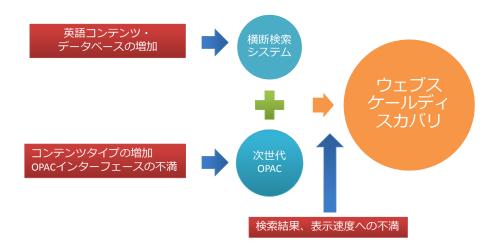
二 佛教大学図書館

Primo Central



- 2010年リリース
- Ex Libris社

ここから見えるもの



・英語を基盤とする「豊富な電子コンテンツ」が先に存在し、その利用を効率的に行 うためのソリューションの進化の中で開発

23

・「必要は発明の母」を地で行く、<u>海外で開発された「英語コンテンツありき」</u>の サービス

二 佛教大学図書館

日本化へのステップ

日本化の前提

現実の認識

- BIG4をはじめ、ディスカバリサービスは海外製品しかなく、継続的な日本化への取り組み は避けられない
- 日本語もベンダーにとっては世界中のユーザーが使う言語のひとつでしかない

背景の認識

- ディスカバリサービスの生まれた背景は明らかに日本と異なる
- これまでの図書館システムとは異なる特徴(四つの要件)を持っている

文化的な摩擦や甘受の必要性を認識

• 海外製品であるがゆえに、日本的感覚からみると、違和感のある対応や仕組みも

日本化する範囲を認識

- <u>システムとコンテンツの両面から</u>、十分に日本語の学術情報を扱えるようにする
- 日本的な細やかさが求められる部分をどう扱うかを考える

25

二 佛教大学図書館

システムとコンテンツの日本化「開始」ステップ (Summonの場合)

- 検索画面などの日本語化
- もっとも初期に開始

ユーザインターフェース (デザイン)の日本語化

コンテンツの導入

- 「ローカル」なOPACデータのロード
- 「グローバル」な商用データベースの ロードには時間が必要
- <u>日本語に特化した検索技術</u>の適用
- 利用者の言語に応じた検索結果の表示

検索機能(システム)の 強化

実際の作業は、並行して継続している

日本語に特化した検索技術

(例) 形態素解析



たとえば「京都」の検索結果に「東京都」が入ってこないようにする。新語などが出てきた場合には難しいことも(ex.リニアの「東京都駅」)

27

二 佛教大学図書館

ユーザインターフェースによる 利用者の言語認識



中国語と日本語のように、漢字を共通に使う言語の場合でも、利用者の望む結果を返す



譯 佛教大学図書館

収集されるべきコンテンツ

論文

雑誌タイトル

雑誌記事

図書タイトル

リファレンス

収集されるべきコンテンツ

新聞記事 公文書 写真 音楽 映像

二 佛教大学図書館

コンテンツの収集アクション(1) ライセンスを中心に考えると

自館コンテンツ	オープン データベース	商用データベース
OPAC機関リポジトリデジタルアーカイブ	NDL雑誌記事索引JAIROCiNii	ジャパンナレッジMedical Finder医中誌Web
		magazine plusbook plus新聞その他

現在のフェーズは「商用データベース」へのアクションが中心

コンテンツの収集アクション(2) スケーラビリティから考えると

Global Web-Scale

- 商用データベースなど
- 契約があれば世界中で利用可

Regional / Consortial

Group-Scale

- 地域コンソーシアムが作成したデータベースなど
- グループとしての利用が中心
- グループ内だけの限定コンテンツも

Local
Institution-Scale

- 図書館や大学が作成したデータベースなど
- その図書館や大学での利用が中心
- 学内限定というのも

現在のフェーズは「Global / Web-Scale」へのアクションが中心

二 佛教大学図書館

低

高

ディスカバリ対応

33

コンテンツベンダーから見た課題

- 海外ベンダーへの信頼欠如
- メタデータの行方に不安
- 海外ベンダーの相手は面倒
- ポリシーの問題
- そもそも契約上無理

心理面

ライセン 、ス面

技術面

金銭面

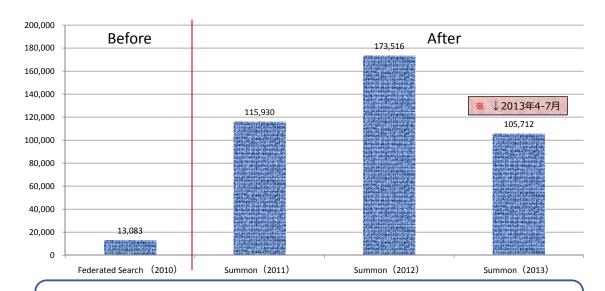
- 技術的に難しい
- どんな技術が必要か分からない
- 収益を確保する方法が見えない
- データ提供の対応に費用がかかる

コンテンツベンダーに対し、解決できる課題の場合、図書館がその共存共 栄できるメリットを提示し、迷いをとる手助けをする必要がある?

Summonと日本語コンテンツに見る Win-Win関係

二 佛教大学図書館

Federated Search とSummon 検索件数の経年変化



統合検索(横断検索)の利用はSummon導入前の2010年度に比べ、2011年度で8.9倍、2012年度で13.3倍に増加

Summonの検索回数と 日本語コンテンツ投入時期(佛大の場合)

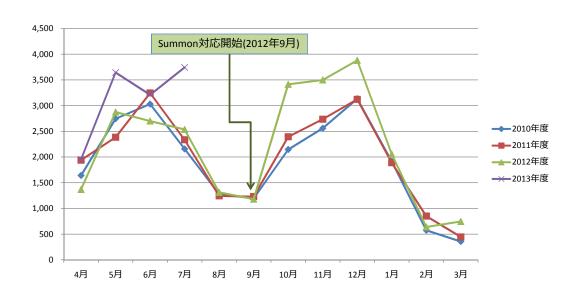


とくにCiNiiとJAIROの投入後、検索回数の伸びが見られるのでは?

37

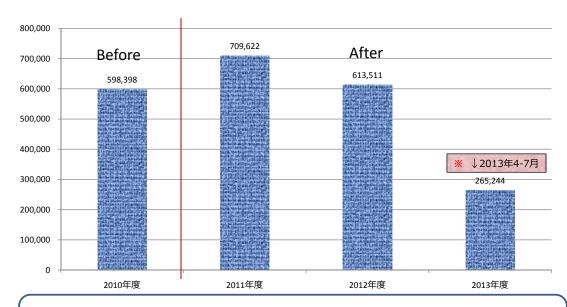
二 佛教大学図書館

CiNiiのダウンロード件数



SummonのCiNii対応が開始されたのち、CiNiiのダウンロード件数も増加 傾向

OPAC検索件数の経年変化



Summonの導入一年目は、OPACの検索結果が増加したが、二年目になり減少を示す。本年度もその傾向は継続の模様

9

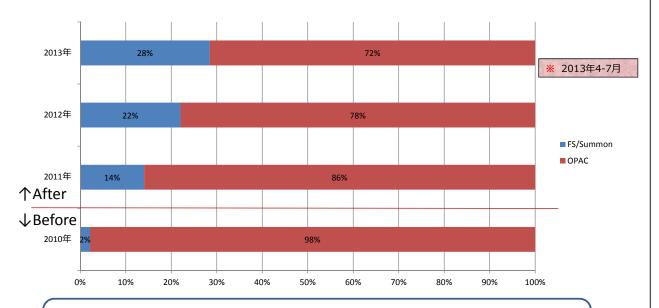
二 佛教大学図書館

Summonにおける詳細画面設定



詳細画面をSummon側に持たせることで、OPACへの遷移が減少





OPACと統合検索(横断検索)の検索件数の合計に対するそれぞれの割合は、Summon導入後、統合検索の占める率が高くなりつつある

41

二 佛教大学図書館

一方的Win-Win関係(?) 「棚からぼたもち」

日経BP記事検索サービス(キジケン)

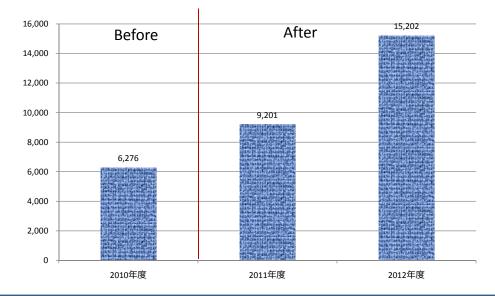


2013年9月時点では、Summonにメタデータを提供していない日本語 データベースのひとつ

43

二 佛教大学図書館

日経BPキジケンにおける ダウンロード件数の経年変化



Summon導入前の2010年度に比べ、2011年度は**1.5**倍、2012年度は**2.4**倍の伸び。2012年度は定額契約の上限件数(12000件)超え

雑誌記事索引



http://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/sakuin_index.html

45

注 佛教大学図書館

雑誌記事索引のデータから 日経BPキジケンへのアクセス



雑誌記事索引のデータから 冊子体の雑誌書誌へのアクセス



ここからわかること

- Summonは一度受容されると利用者の資料探索行動に与える影響は大きい
- 日本語コンテンツの質と量がSummonの評価に直結する
- Summonにデータを提供した1次資料データベースの利用は増加する
- 雑誌記事や論文タイトルなど価値のあるメタデータを提供できるデータ ベースはSummonにそのコンテンツを提供することで、他のデータベースに 多大な貢献をもたらし、手放すことが難しくなる
- 例えばmagazine plusは、こういったデータベースのひとつになりうるか も・・

図書館ステークホルダにとって重要な共存共栄をもたらす「正のスパイラル」が出現

理想的な「正のスパイラル」

価値のあるデータベース

データベース契約の続行

メタデータを提供したデー タベースの価値を再認識

ディスカバリの利用者増加

データベース本体や他の データベースの利用を導く

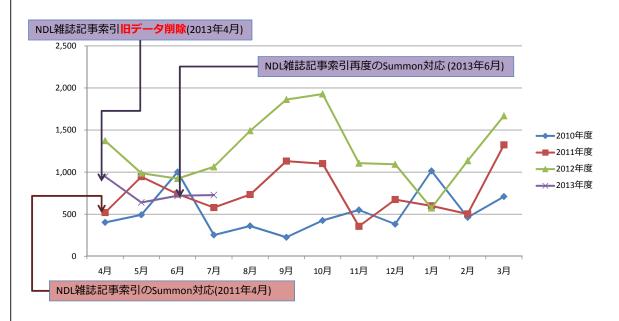
日本語コンテンツの場合、この流れは一層強固なものに・・・(本当です)

49

二 佛教大学図書館

データベースの価値を再認識する あるアクシデントを通じて

日経BPキジケンのダウンロード数



NDL雑誌記事索引のデータ削除により、本年度は利用者数が急激に低下。新データ投入後も回復していない

51

二 佛教大学図書館

雑誌記事索引からの ハーベストデータの変化

Before

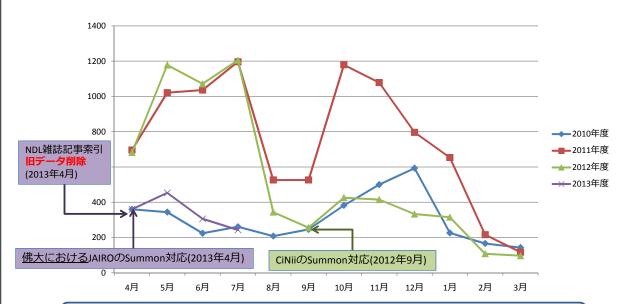


After



新データでは、ISSNデータが入っておらず、正確なリンクを形成できない状態に(泣)

雑誌記事から冊子体雑誌書誌への アクセス件数



CiNii、JAIROのSummon対応と雑誌記事索引由来データのISSN欠損から、冊子体雑誌の利用は著しく減少。2010年並みで推移

53

二 佛教大学図書館

APIの仕様変更に原因



ISSNという分かりやすい形でのメタデータはないが、実際にはURIとして保持しているので、なんとかなりそう

ISSNの復活

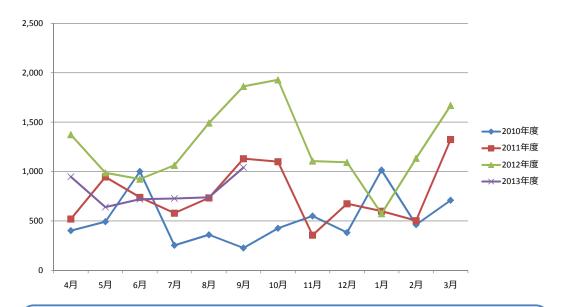


2013年9月13日(金)よりISSNが復活。推移を注意深く監視中

55

二 佛教大学図書館

日経BPキジケンのダウンロード数(速報)



9/13のISSNの復活をうけ、月刊1041件のダウンロードを記録し、本年度はじめて1000件台に乗せる。明るい見通しが得られたことで、ISSNデータを含む雑誌記事索引を再評価?

ここからわかること

- 雑誌記事索引は商用データベースとは異なるが、商用データベースであっ ても、再評価の過程に変化はないと思われる
- 例えば雑誌記事索引に類似するmagazine plusであれば、同じような評価と なることも期待できるし、これ以上の波及効果を生み出せる可能性がある
- 商用データベースの契約者のSummon上でのみ、そのメタデータの利用を許 諾するようにすれば、商用データベースの契約は維持されるだろう
- 日本語コンテンツが入っていても、<u>ユーザビリティを確保</u>できないと、 Summonは十分な効力を発揮できないという現実がある

二 佛教大学図書館

ちなみにmagazine plusですが



2014年4月からディスカバリサービスでのメタデータ利用が可能に!

日本語対応から日本化へ APIによるSummonのユーザビリティ向上の試み

二 佛教大学図書館

59

日本語対応における現実と課題

- ハーベスト(収集)を受け入れていない商用データベースが存在
- NDL-OPACやOPACのメタデータの内容は、従来からの目録規則に準拠した部分にとどまり、「豊かなメタデータ」とは言いにくい
- 日本語によるディスカバリサービスでの図書検索は、OPACにおける図書検索と遜色ないものでありたい。すなわち、OPACで可能なことはディスカバリサービスでも可能であってほしい
- ユーザインターフェースに日本的な細やかさをもとめたい

ディスカバリサービスの枠を超え、APIを用いての外部情報資源の利用を行うことで課題解決に道が開ける

API (Application Programming Interface)

- あるソフトウェアが外部のソフトウェアに対して提供するインターフェース(接続 規格)
- データの外部からの呼び出しや、交換といった用途で用いられる



二 佛教大学図書館

二 佛教大学図書館

メタデータが収集できていない日本語の「図書目次」といったデータを既存の書誌の

データを用いて表示できる。間接的な「書誌エンリッチメント」が可能

BOOKデータASPサービス (BOOK API)

二 佛教大学図書館

63

概要

- 日外アソシエーツ社の「BOOKデータベース」の内容、目次・要旨、 著者紹介情報(2001年~現在)、表紙書影(2000年~現在)をAPI によって提供するサービス
- ISBNを検索キーとして該当のメタデータを「BOOKデータベース」からXML形式で呼び出すことができる。また表紙書影についてはJPEG画像を呼び出すことができる。
- 表示される内容はすべて著作権が処理されたものであり、ライセン ス的な心配がない

■日外アソシエーツ

BOOK APIでの呼び出しデータ

```
-<result>
     -<records>
        -<rec>
             〈title〉紫式部〈/title〉
             (isbn10)4389411748(/isbn10)
             <isbn13/>
           (sish13/>
- (youshi)
美麗な衣装、具、果髪、平安の貴族たちの絵巻は日本文化の雅のルーツとして現代人たちに果てなき夢、憧れを誇ってやまないが、宮廷社会の実態は敵人、それほど美人もなる雅でもない。表面が華やかであればあるほど、その内部に沈潜する人間の暗部、不断の古指や現よみ、不条理なども除立ってる。絶えざる権力闘争も激し、宮廷社会の渦中にあって、様々な人間の実相を常に冷静に、聡明な和性と涼やかな現線をもって見つめている女人があった。紫式部と呼ばれる宮仕え女房である。時の権力者豚原道長の娘、中宮彰子に仕え、宮廷生活の現実を見据えながら、孤独なわが魂を燃焼させるかのようにあの源氏物語を創出した人、彼女の歩み、心象世界を虚心に辿ることにより、その創造のエネルギーの原点を探り、混迷した現代に生きる我々の精神の種としたい。
             </youshi>
           - (mokuj)
第1章 紫式部と宮仕え(宮仕え女房紫式部:宮仕えへの道のり;源氏物語の執筆;同僚女房たちとのかかわり;主家の人々とのかかわり;自照・述懐);第2章 源氏物語の世界(青春の碑;没落、そして栄光への道:暗転・愛と罪と死;宇治の浄光);第3章 美意識・思念(僅やぎ、やつれ:自然と人間)
             </mokuji>
           -<authorinfo>
<name>沢田 正子</name>
                   1944年(昭和19年)、東京生まれ。東京教育大学大学院文学研究科(日本文学専攻)修了。東京教育大学·筑波大学助手、静岡英和女学院短期大学講師·助教授·教授を経て、現在静岡英和学院大学教授。平安女流文学専攻
                (/deec)
          </rec>
          <query>item(isbn10) : value(4389411748)
           <src_ipaddress>202 254.199.47</src_ipaddress</pre>
       </records>
    </content>
```



XMLではタイトル、ISBN、あらすじ、目次データ、著者情報、IPアドレスなどを取得できる

65

二 佛教大学図書館

OPACにおけるBOOK APIの実装



本学の場合には、あらすじ、目次データ、著者情報のみを表示していたが、 利用者からの評判がよかったこともあり、Summon導入後は<u>「日本化」のト</u> ピックのひとつとして、連携を本格的に検討。実証実験を開始

SummonにおけるBOOK API実証実験

二 佛教大学図書館

OPACとSummonの仕様比較

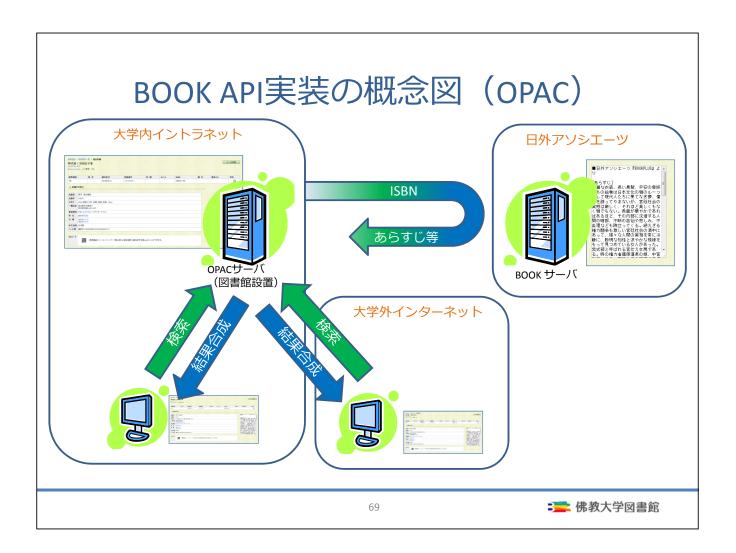
OPAC

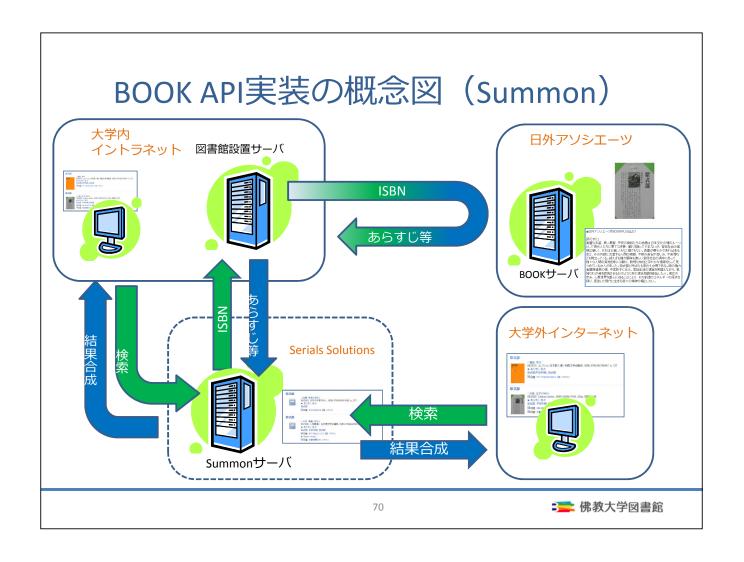
- ・オンプレミス(学内設置等)での運用が一般的で、サーバ自体も所有・管理 が可能なため、自由度が高い
- •ベンダーを通して、一定の画面カスタマイズなども可能

Summon(ディスカバリサーヒス)

- クラウドサービスであり、サーバ等を自由に触れる環境ではない
- •ユーザインタフェースの共通化により、画面カスタマイズの自由度が低い
- セキュリティなどの面で考慮すべき要件が多い

ということで、Summonのほうが適用は難しい部分も・・





検証結果としては



とりあえず、図書に関する目録規則準拠のメタデータについて、それを補う情報を表示できることを確認

71

譯 佛教大学図書館

ただし課題も・・・

技術的な課題

ブラウザ

- 検証段階だがInternet Explorerは、独自のセキュリティポリシーを もっており、「目次」「あらすじ」の表示が難しい
- FirefoxやChromeの頻繁なアップデートに対する一定の懸念

Summon

- クラウドサービスを背景に、ベンダー側でのユーザインターフェース画面のアップデートなどが頻繁なことに懸念
- アップデートにより仕様や「設計思想」が変更された場合には、スクリプトを書き直して、設定をし直す必要が出てくる可能性

二 佛教大学図書館

73

Internet Explorerと他ブラウザの比較

ΙE

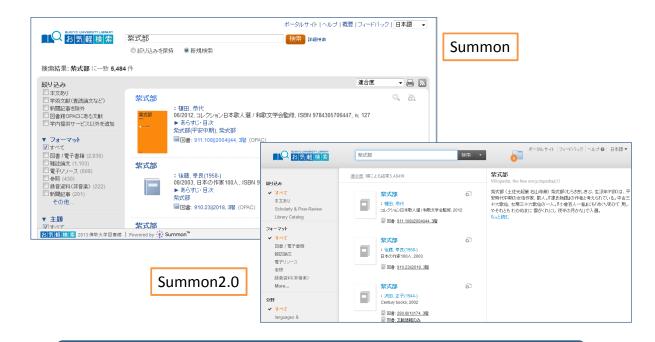


Firefox Chrome



ただいま回避策などを模索中・・・

Summon の仕様変更



ただいまSummon2.0向けに急ピッチで開発中・・・

75

二 佛教大学図書館

正式運用に向けて

- Internet Explorerへの完全対応
- 今後切り替わるSummon2.0への対応スクリプトの開発
- SummonのベンダーであるSerials Solutions社には運用のための 技術的要望などを申し入れ済み
- Serials Solutions社からは前向きな返答

ディスカバリサービス「日本化」のステップとして、Summonについてはある程度の見通しがついた状況

その他の注意点

- 組み込みを認めるか否かはディスカバリサービスのベンダー側の考え方によるので、ベンダー側との事前の協議を行っておくこと(ちなみにSummon およびEBSCO Discovery Serviceで対応できることは確認済とのこと)
- ディスカバリサービスベンダーとの技術的協議を行い、クライアントとしての要望を伝えること
- ディスカバリサービスベンダーを介して各種設定を行い、持続的な保守体制を利用すること

とにかく持続可能なシステムとして利用できるようにすることが大切

譯 佛教大学図書館

近未来への展望さらなる「日本化」に向けて

収集されるべきコンテンツ



日本語においても、英語コンテンツと同様のメタデータの「厚み」がほ しい

79

二 佛教大学図書館

厚みの要素のひとつ「時間」



過去のデータに対しても「遡及」していくことは将来的には必要だろう

図書目次(あらすじ)に絞ると

- あらすじ、目次データのハーベストデータはほとんどない
- BOOK APIによる外部情報の取得でエンリッチメントを試 みている状態
- BOOK APIで取得できる図書のあらすじや目次情報は、 1986年以降に限られるという時間的な制約

時間的な厚みの必要性

- •図書館の書庫などに埋もれる1986年以前の図書にも、人 文科学系を中心に十分利用できる学術情報は存在
- NDL-OPACや自館OPACの書誌による基本の「メタデータ」 については、過去への遡及は十分に行われている状態

図書目次

必要性は高いの では?



譯 佛教大学図書館

日本語の図書目次メタデータの存在状況 (≠ディスカバリ対応)

81

1986年~現在

• BOOKデータベース

1969年~1985年

★BOOKデータベースの拡張プロジェクトとして、日外アソシエーツ社で<u>入力事業が開始</u>されることに!

1968年以前

• 国会図書館デジタル化資料

一定の課題が解決されれば、ディスカバリサービスの一層の「日本化」は進むはず

課題と要望

API (ASPサービス)

- 遡及データにはISBNなどがなく、現状の仕様では連携できない可能性が高い
- ◆APIとしての利用の需要を考えると、代替となるキー(ex. NCID, 全国書誌番号など?)への対応を考える必要もある

ハーベスト対応

- 国立国会図書館デジタル化資料とともに、ディスカバリサービスによるハーベストに対応できることが望ましい。
- ●ディスカバリサービス内での書誌マージ(OPAC書誌などとの統合)などを、 ディスカバリベンダーと協調して行ってほしい

課題解決により、多くの価値ある日本語メタデータを「意識せずに」提供できる状況を作ることが可能。Win-Win関係は拡大するのでは?

83

二 佛教大学図書館

本当の「日本化」に向けて

前提から考える

- ディスカバリサービスは「豊富な英語コンテンツありき」のシステムであった
- ●日本的な思想を反映させるためには「豊富な日本語コンテンツ」があることが前提であり、それが日本化を後押しする

目標を再認識する

• 日本化は<u>日本語対応のみを意味するものではない</u>。日本的なきめ細やかなユーザビリティ の向上等を広く含んでの日本化である

誰が何をすべきかを考える

• 図書館とそのステークホルダには、Win-Win関係構築のためにも、継続的に収録メタデータの分野と時代の厚みを増していく努力が必要である

ディスカバリサービスの「日本化」の向こうには、ディスカバリサービスを通しての日本語学術情報の「グローバル化」が見える。国としての姿勢も今後問われるかも??

